

セントラル換気用
システム部材

薄形給排気グリル

形 名

AT-50QUK

AT-100QUK

メルコエアテクノロジー

取扱説明書（据付説明書付）

この製品はセントラル換気システムの給排気口として住宅居住室内の天井・壁・床に据付けて使用してください。それ以外の用途・場所には使用（据付け）しないでください。

■この製品の性能、機能を十分発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付けが必要です。

■据付けを始める前に、この説明書をよくお読みになり正しく安全に据付けてください。

■据付けは販売店・工事店様が実施してください。

据付け終了後は、必ずこの説明書をお客様にお渡しください。

ご使用の前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。




なお、お読みになった後は、お使いになるかたがいつでも見られるところに保管してください。

この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。

This appliance is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

安全のために必ず守ること

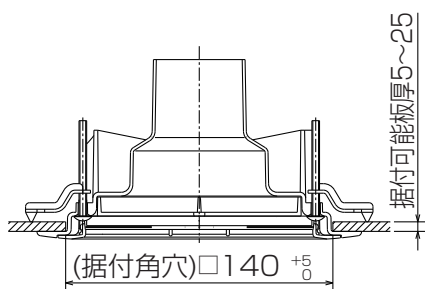
誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で説明しています。

	 注意	誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●お手入れの際は足元が不安定な状態でギャラリの着脱を行わない（足元が不安定な状態での作業はけがの原因） ●本体に荷重をかけない（落下によるけがの原因） 	
 指示に従い必ず行う	<ul style="list-style-type: none"> ●据付けは確実に（落下によるけがの原因） ●据付けやお手入れの際は、手袋を着用する（着用しないとけがの原因） ●据付けやお手入れの際は、必ず接続されている換気扇を停止してから行う（運転状態での作業はけがの原因） 	

据付け前のお願い

- 直接炎・油煙があたりおそれのある場所や有機溶剤・可燃性ガスのある場所では使用できません。
- 高温（40℃以上）になる場所・浴室などの湿度が高い場所では使用できません。
- 据付けの環境によっては結露することがあります。
- 火災警報器がある場合は、感知部から1.5m以上離れた場所に据付けてください。
- メンテナンスができる場所に据付けてください。
- 設置したダクトに著しい変形（ツブレ等）や極端な曲げがある場合は、製品を据付けしないでください。
- 石こうボードにねじ固定する場合は、必ず市販の石こうボード用アンカーを使用して据付けてください。
- 床面に据付ける場合、グリルに重いものをのせたり、足で踏む場所には据付けしないでください。
- 据付面に反り・凸凹がないか確認して据付けてください。

外形寸法図



適用パイプ

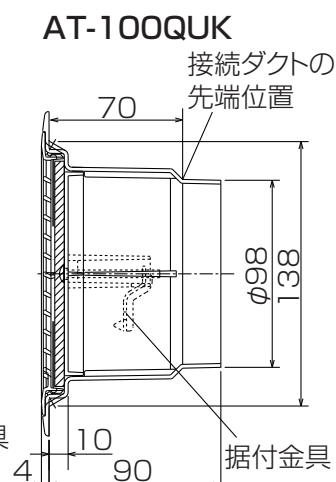
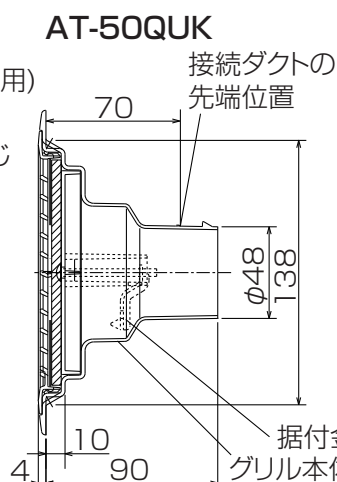
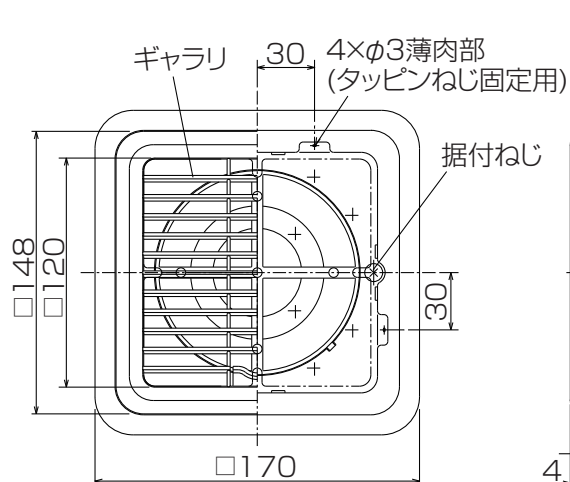
形 名	適用パイプ 口径 (mm)	適用パイプ					
		ダクトホース		フレキシブル ダクト	硬質ポリ塩化ビニル管		スパイラル ダクト
		断熱なし	断熱あり		VU	VP	
AT-50QUK	φ50	○	○	○	○	○	×
AT-100QUK	φ100	○	○	○	○	○	○

据付可能場所

- 天井・壁・床
(踏みつけられない場所)

据付可能板厚

- 5~25mm
(据付板厚25mm以上の場合、市販のタッ
ピンねじ(3×30)で固定してください)

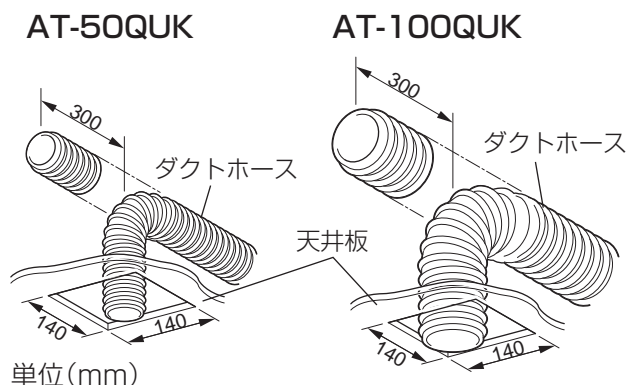


单位(mm)

据付方法

- 天井据付け・壁据付け・床据付けの3通りありますが、ここでは天井据付けを示します。
壁据付けと床据付けは、同様に行ってください。

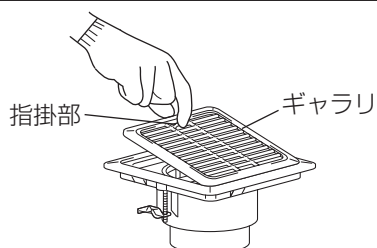
1



ダクトホース配管

- 1.ダクトホースを据付位置まで配管し、据付位置より300mm程長くして切断する。
- 2.天井板を張り、据付位置に□140mmの穴を開け、ダクトホースを引き出す。

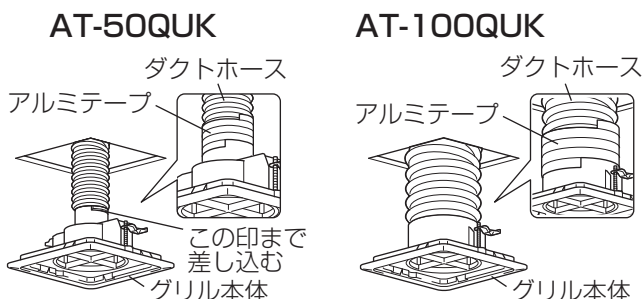
2



ギャラリの取りはずし

ギャラリの指掛部に指を掛け、手前にはずす。

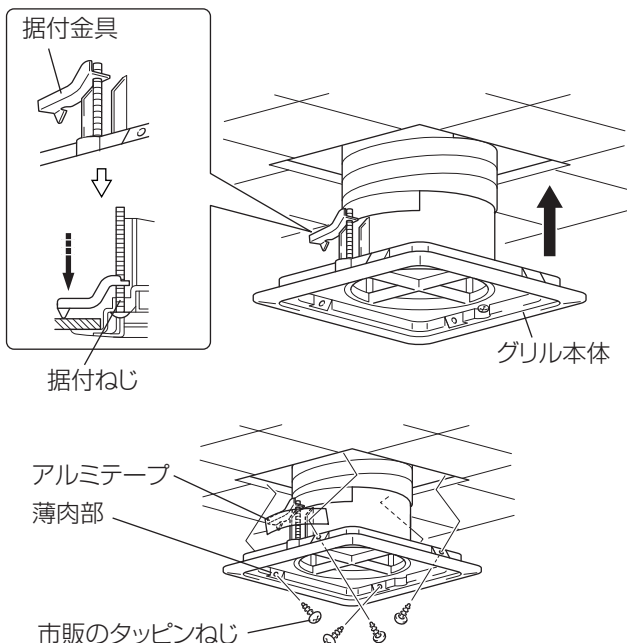
3



グリル本体とダクトホースの接続

1. グリル本体をダクトホースに差し込む。
 - ダクトホース（断熱あり）を使用する場合は、断熱部分のみを先端50mm切断します。
2. ダクトホースとグリル本体の合わせ部全周をアルミテープで風漏れのないよう2回以上巻き付ける。

4



グリル本体の固定

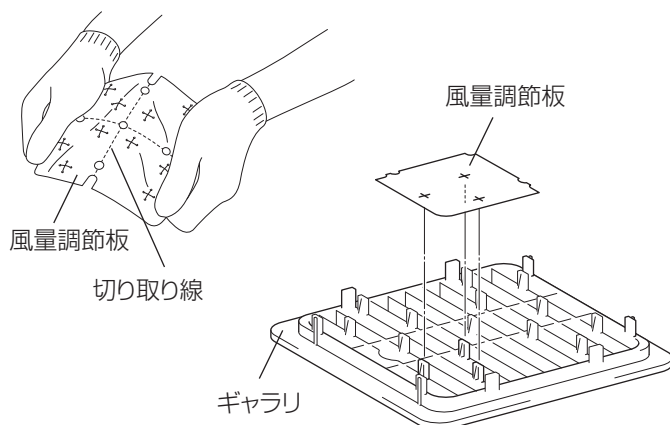
据付金具による据付け

1. 据付金具を図の位置に合わせ、据付ねじを指で押さえながら、グリル本体を天井板穴部に差し込む。
● 据付ねじがさがると据付金具の位置がずれて天井板穴部に差し込めなくなります。必ず据付ねじを指で押さえてください。
2. 据付ねじ(2本)を締め付ける。
● 図のように据付金具が下に移動し、グリル本体が天井板に確実に据付けられます。

タッピンねじによる据付け

- 据付板厚25mm以上の場合、タッピンねじによる据付けをします。
1. 据付金具を図の位置に合わせ、据付ねじがさがらないようアルミテープで固定する。
 2. フランジ部の薄肉部(4か所)を市販のタッピンねじ(4本)で締め付け固定する。(タッピンねじ：なべ1種3×30)

5



風量調節

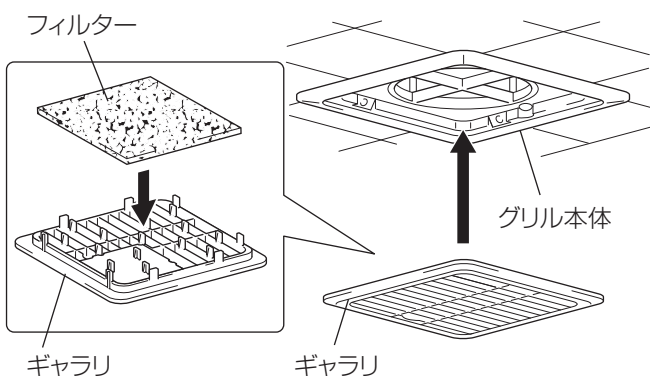
1. 風量調節板を開口面積に応じ切り取り線に沿って切り取る。(全開の場合は使用しない)

開口面積	風量調節板
1/4	3/4使用
1/2	1/2使用
3/4	1/4使用

2. ギャラリー裏面の突起部に風量調節板の切り込み部を差し込む。

使用しない風量調節板は説明書と共にお客様にお渡しください。

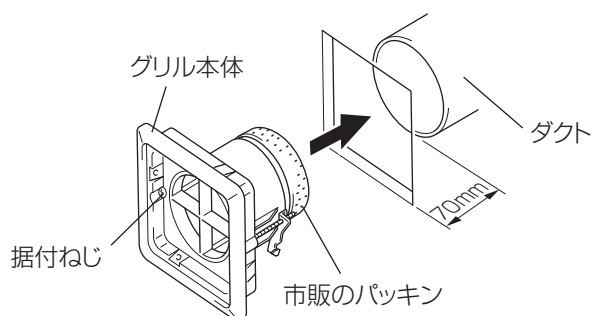
6



ギャラリの取付け

1. フィルターをギャラリー裏面に取付ける。
2. ギャラリーの吹出し方向を確認し、グリル本体に「パチン」とはめ込む。

硬質ポリ塩化ビニル管・スパイラルダクトに据付ける場合



1. ダクトを据付面より70mm奥に配管する。
2. グリル本体先端に市販のパッキンを巻き付ける。
3. グリル本体を固定する。

据付金具による据付け

- (1) 据付方法4の「据付金具による据付け」を参照し、グリル本体をダクトに差し込む。
- (2) 据付ねじ(2本)を締め付け固定する。

タッピンねじによる据付け

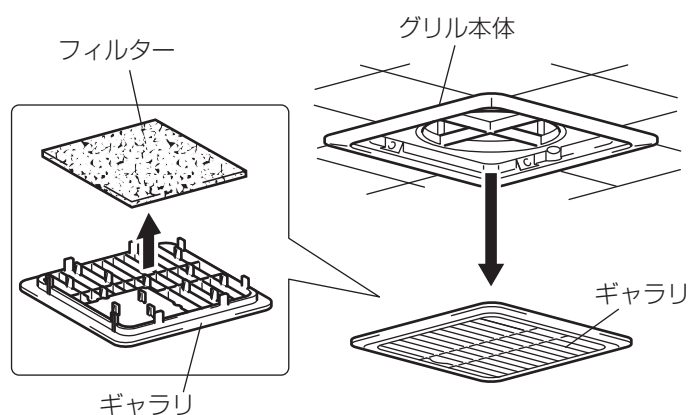
- (1) 据付方法4の「タッピンねじによる据付け」を参照し、グリル本体をダクトに差し込む。
- (2) 市販のタッピンねじ(4本)で締め付け固定する。

お手入れ

ギャラリやフィルターにほこりなどが付着しますと風量低下や異常音発生の原因になります。
2か月に1度を目安として清掃してください。

⚠ 注意

- お手入れの際は足元が不安定な状態でギャラリの着脱を行わない（足元が不安定な状態で作業はけがの原因）
- お手入れの際は、手袋を着用する（着用しないとけがの原因）
- お手入れの際は、必ず接続されている換気扇を停止してから行う（運転状態での作業はけがの原因）



1. ギャラリーをはずす。
2. フィルターを取り出す。
3. ギャラリー・フィルター・風量調節板の清掃をする。
 - ギャラリー・風量調節板はぬるま湯に浸した布をかくしぼってふく。汚れのひどい場合は、薄めた台所用中性洗剤を浸した布で汚れをふき取り洗剤が残らないように乾いた布でよくふき取る。
 - フィルターは、きれいな水で軽く水洗いし、よく乾かす。
4. 風量調節板・フィルター・ギャラリーを元通り取付ける。
 - 風量調節板をギャラリー裏面の突起部に差し込む。
 - フィルターはギャラリー裏面の突起部(8か所)に差し込む。
 - ギャラリーは「パチン」と音がするまではめ込む。

お願い

- フィルターをはずす際に虫やほこりが落下する場合がありますのでご注意ください。
- フィルターを熱湯で洗ったり、もみ洗いしたり、直接火にあてて乾かししたり、ドライヤーなどで温風をあてて乾かすことは絶対にしないでください。
- 台所用中性洗剤を使用量の目安まで薄めて使用してください。（洗剤は原液のままで使用しないでください）
- 台所用中性洗剤で清掃した後は、中性洗剤が残らないようふきとってください。
- フィルターを入れ忘れますと壁や天井が汚れる原因となりますので、フィルターを入れ忘れないよう注意してください。
- お手入れに下記の溶剤や洗剤、清掃用具を使用しないでください。製品表面に傷つきや破損・変形・変質・変色、割れが発生する原因になります。
（シンナー、アルコール、ベンジンなどの溶剤、ガソリン、灯油、カビ取り洗剤、柑橘系などの植物系洗剤、スプレー、酸性洗剤、アルカリ性洗剤、塩素系洗剤、化学ぞうきんの薬品、クレンザーなどの研磨剤入りの洗剤、殺菌剤、消毒剤など）
- 交換用フィルターは、純正品をご使用ください。
純正品は、下記にてお問い合わせいただけます。

交換用フィルターのご注文

■オンラインショップ
<https://www.melcoairtec.jp/>
右の二次元コードからもアクセスできます



※お問い合わせは、本紙末尾に記載されているフリーダイヤルよりご連絡ください。

メルコエアテクノロジー株式会社